

地域交流セミナー(第3回)

「日本人はいかにして〈社会〉を 変えてきたのか？」

〈社会〉を変えたい。〈社会〉を根っこのところから変えなくてはいけない。そんな意識が高まっています。しかし、実際には、〈社会〉は容易には変わりません。どうしてでしょうか。

この講演では、日本史上のいくつかの顕著な事例を振り返りながら、あるいは西洋や中国の革命と比較しながら、日本人の「〈社会〉の変え方」の論理には、どのような特徴があるのか、どのような方法によれば、日本の〈社会〉を変えることが可能になるのかを考えてみます。

日時

平成 26年 2月15日(土)

13:30~15:10(開場13:00~)

入場無料

(募集200名)

要申し込み
詳細は裏面へ

講師

おおさわ まさち 「日本と東アジアの未来を考える委員会」委員
大澤 真幸氏 社会学者(元京都大学教授)



撮影:尾崎 誠

1958年長野県松本市生まれ。社会学者。東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得満期退学後、千葉大学文学部助教授、京都大学大学院人間・環境学研究科教授を歴任。社会学博士。2007年『ナショナリズムの由来』で毎日出版文化賞受賞。現在、THINKING「O」主宰。執筆活動のほか、日本各地で講演やセミナー・シンポジウムなどでも活躍中。

著書

『〈世界史〉の哲学』古代篇・中世篇・東洋篇(講談社)、『思考術』(河出ブックス)、『虚構の時代の果て』(ちくま学芸文庫)、『ナショナリズムの由来』(講談社、毎日出版文化賞)、『夢よりも深い覚醒へ』(岩波新書)、『社会は絶えず夢を見ている』(朝日出版社)、『「正義」を考える』(NHK出版新書)など多数執筆。個人誌『大澤真幸 THINKING「O」』(左右社)も刊行中。また、橋爪大三郎氏との共著で『不思議なキリスト教』『驚きの中国』(講談社現代新書)、『ゆかいな仏教』(サンガ新書)なども出版。

場所

奈良県文化会館 小ホール

奈良県奈良市登大路町6-2

主催:奈良県